

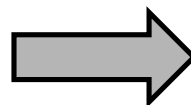
平成22年度の介護保険料率について

各年度の介護保険料率については、次の算式により得た率を基準として、保険者が定めることとなっている。

$$\text{介護保険料率} = \frac{\text{介護納付金の額} - \text{国庫補助額}}{\text{介護保険第2号被保険者の総報酬額の総額の見込額}}$$

《現行の介護保険料率》

1.19%



《平成22年3月分～》

1.50%

※任意継続被保険者にあつては、平成22年4月分～

【参考】

- ・ 介護納付金の額は6,945億円、国庫補助額は1,221億円、総報酬額は39兆6,631億円として算定しており、これに過年度保険料の収納見込額（18億円）、平成21年度末に見込まれる不足分（230億円）を勘案して、1.50%と設定。
- ・ 平成20年度決算において介護分の積立不足が45億円となっており、平成21年度収支として185億円の赤字が見込まれることから、平成21年度末に見込まれる不足分は230億円としている。
- ・ 総報酬額は収納率（98.9%）を勘案。

(参考)

介護保険料率の算定式

$$\begin{aligned} & 6,945\text{億円 (介護納付金)} - 1,221\text{億円 (国庫補助)} \\ \text{① } & \frac{\text{-----}}{39兆6,631\text{億円 (総報酬額)}} = 1.443\% \\ & \\ \text{② } & 230\text{億円} \begin{matrix} \text{(21年度末不足} \\ \text{分)} \end{matrix} \div 39兆6,631\text{億円 (総報酬額)} = 0.058\% \\ & \\ \text{③ } & \text{過年度の未納保険料を22年度中に収納することによる減} \quad \blacktriangle 0.004\% \\ & \\ & \text{①} + \text{②} + \text{③} \quad \doteq \quad 1.50\% \end{aligned}$$

協会けんぽの収支イメージ(介護分)

(単位：億円)

		20年度 (決算)	21年度			22年度			備考
			11月時点の 協会推計 (a)	直近での見 直し (b)	(b)-(a)	11月時点の 協会推計 (c)	予算セット の見込み (d)	(d)- (c)	
収入	保険料収入	4,729	4,830	4,830	0	5,860	5,960	100	
	国庫補助等	943	1,180	1,180	0	1,200	1,220	20	
	その他	0	30	30	0	0	0	0	
	計	5,672	6,030	6,030	0	7,060	7,180	120	
支出	介護納付金	5,920	6,220	6,220	0	6,830	6,950	120	
単年度収支差		▲ 248	▲ 190	▲ 190	0	230	230	0	
準備金残高		▲ 45	▲ 230	▲ 230	0	0	0	0	

○ 左の22年度の保険料収入を基
に機械的に試算した保険料率
1.50%(+0.31) (3月改定の場合)
(参考)介護保険料率の推移(%)

年度	15	16	17	18	19	20	21
料率	0.89	1.11	1.25	1.23	1.23	1.13	1.19

- (注) 1. 従来の政府管掌健康保険の単年度収支と同様の手法で作成したものの。
2. 端数整理のため、計数が整合しない場合がある。
3. 金額については、今後変動がありうる。